



『いきすこ』昭和地区社協便り

広報専門部会
Vol. 23

編集・発行 袖ヶ浦市昭和地区社会福祉協議会 広報専門部会 ☎ 0438-63-3888
〒299-0256 袖ヶ浦市飯富1604 袖ヶ浦市社会福祉センター内 FAX 0438-63-0825

昭和地区社会福祉協議会の紹介

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、まず自分たちが暮らす地域や周りの人々に関心を持ち、次に地域福祉に影響のある多様な団体が地域における課題を「他人事」ではなく、「我が事」として把握・共有し、解決を試みる組織が必要となります。それが当協議会です。

また当協議会は高齢者や児童の仲間作りを目的に5事業を実施しています。今回は、当協議会に参画している5団体の活動を紹介します。

昭和地区社協活動



各団体には対象者や団体構成員、その任期等に特色があります。それ故一つの団体では難しい課題も、お互いに協力すれば解決の糸口は探れると思えます。もし困り事や不安なことがあれば社協メンバーに連絡ください。

福王台自治会の福祉活動紹介 自治会副会長 迫山 幸治

当自治会が地域の連帯感・快適な環境作りを目的に、各種事業を行なうことは、参画した人の輪が広がり、皆で支えあう「互助」の精神が涵養されると考えています。

また深刻化する少子高齢化に対しても、助け合い・支えあい組織(福助会)設立や地域で子どもを育てる対策も始めました。



子ども神輿で祭りが華やかに!



“ふまねっと”の皆さん

シニアクラブの紹介

袖ヶ浦市シニア連理事 飯野芳郎

シニアクラブは、高齢期の方々が、地域の仲間と和気藹々と楽しむためのクラブです。



先ずは体操から(神納1区)



袖ヶ浦駅前大通りの草取り

社会奉仕、健康づくり、生きがいをもつ活動を通して、会員同士の健康維持・親睦を図ると共に、子ども達や市内のシニアクラブと交流します。

また活動は高齢者の孤立を防ぎ、仲間見守りにも繋がっています。

昭和地区民生委員児童委員協議会の紹介



同協議会会長 石井美喜男

私達は厚生労働大臣から委嘱され、高齢者世帯等の訪問・見守りや、子ども達の安全を見守る日頃の活動等に皆様に信頼を頂いています。そして皆様からの相談を受けて、それに対して解決の糸口を探り、行政とのパイプ役を担っています。また災害時要援護者支援体制づくり、高齢者や子育て世帯の孤立を防ぐ活動も行なっています。



見守り訪問での会話が楽しい



登下校する児童達は見守りのおじさんと仲良しになる

主任児童委員活動の紹介

主任児童委員 元古麗美

私達は、地域の児童や妊産婦の福祉に関する相談・援助活動を担当し、学校・行政等との連絡調整を行っています。

例えば保健師等が行なう生後4ヶ月までの「赤ちゃん訪問」未了家庭を訪れ育児に関する相談・対応を行なっています。



地域の声、お母さん方の声、子ども達の笑顔を育むためのSOSを見逃さない寄り添う気持ちで行政との橋渡しをしています。



市イベント時の保育協力; 可愛い子達の世話をしています

袖ヶ浦市民会館活動の紹介

袖ヶ浦市民会館館長 濱崎雅仁

市民会館は、昭和地区の公民館として、地域の皆さまが学び、集い、高めあう施設です。地域課題の一つは、人と人との繋がりの希薄化です。地域の皆様の学習活動やサークル活動などにより、信頼感や連帯意識が高められるよう、市民会館は、地域とのつながり、人とのつながりを大切にしながら地元施設として活動を進めています。



子どもチャレンジ教室 盤洲干潟での生き物観察会



昭和ふれあい教室: ミニ運動会

青少年相談員活動の紹介

袖ヶ浦市青少年相談員昭和支部長 加藤 宏明

私たちは行事や事業を通じて子ども達とふれあい、相談員同士語り合いながら活動しています。

子どもたちには、親や学校の先生、友達に加え、地域の大人の助けが必要で、我々が良き相談相手となりその役割の一端になれば幸いです。更に、青少年相談員活動が地区の各種団体との連携を図り「子どもが育つ地域づくり」になることを願います。



子どもスポーツ大会で元気に動き回る子供たち



夏休み、元気な子ども達

夏休みを元気に過ごしている少年野球チームを紹介します。

昭和地区に少年野球チームは、福王台ファイヤーズ、神納フレンズ、昭和少年野球クラブ(SSBC)の3チームがあります。

また低学年は友達ボールで野球に馴染みながら楽しんでいきます。



昭和少年野球クラブ(SSBC) 友達ボールは親子で楽しむ競技です



神納フレンズ



各チームの代表者の方々に次のことを伺いました。
▼教えていることは、礼儀(挨拶)、辛さを乗り越える気力・体力をつける。
▼協力してやり遂げる一つとして野球があり、子ども同士の助け合い、成長していく過程での大人との接点でもあります。
▼思い切って打って走って、勝つ喜び、負ける悔しさの中から、スポーツの楽しさを知ってもらいたい。

▼嬉しいことは、捕れなかったのが捕れる様になり、打てなかった子が打てる様になったりすることや、大人になった子どもから挨拶を受けたりする。
▼気をつけていることは親御さんへの負担を出来るだけ減らすことで、練習・試合会場への送迎はチームスタッフ中心に行っています。



福王台ファイヤーズ



夏休みラジオ体操

夏休みラジオ体操は、福王台の4地区で、夏休み初めの七月に三日間行なわれました。夏休みは登校がなく生活のリズムが乱れがちですが、ラジオ体操に参加すれば、朝起きるリズムを作りやすくなり、「規則正しい生活」ができる点は、最大のメリットと言えるでしょう。

残念ながら、夏休み終わりの八月は緊急事態宣言で中止になりました。



山王公園



中央公園



法光寺公園



旭化成グラウンド

福寿会活動の紹介

福寿会会長 飯野芳郎

福寿会は福王台自治会館を拠点としたシニアクラブです。昨年来のコロナ禍にあっても緊急事態宣言下を除いて活動しています。
コロナ終息が見えない中で注意すべきはフレイルです。対策の一つは外に出て会話をすることと云われています。だから感染対策を十分に行ない活動していただきます。まだまだ多くの人に参加して頂くには、まず自分たちが今まで以上に楽しむ事と考え、定例会では、仲間との会話が進む様に老若男女誰でも楽しめるゲームを増やしました。まず試しに皆と一緒に身体と頭を動かしませんか、待っています。



まずは体操から



スカットボール：思う所に入らず笑いが絶えず！



保健師さんの熱中症とコロナの話

御存知ですか？

「機(のほり)立て」を紹介！

暑い盛りの8月上旬、稲穂は頭を垂れ、収穫が終わり、神社の祭りです。率土神社では例年9月に「機立て」が行なわれました。この時に新しい住民の方々が参加されています。地域の懇親会にも誘われるとも聞きました。新旧住民の方々が一緒に行事を行えるのは非常に嬉しいことですね。



癒しの散歩道

坂戸神社は、袖ヶ浦市坂戸市場にある神社です。標高約40mの坂戸山中央部に本殿と拜殿があり、社叢は古くから「山あて」として航海の目標となっていました。坂戸神社の創建年代は不詳ですが、日本武尊東征の時(4世紀)戦捷を祈願したと伝えられ、徳川家康から御朱印状をもらい、水戸光圀の旅日記「甲寅紀行」に坂戸神社と記載された歴史ある神社です。



神社の本殿



神社の拜殿



坂戸の森

また坂戸の森は自然林で、倒木から始まる林の再生過程や、地質に合った植生の違いなどが観察できる学術的に重要な森林である。

編集後記

お盆の頃は帰郷の話が二ユースとなります。コロナ禍の昨年・今年にはシツと我慢している人が二ユースになっています。故郷とは「自分の生まれ育った土地」で、私達が日頃接している子ども達の故郷は、袖ヶ浦市の昭和地区なんです。ね。小学校の校外学習等でも地元について教えられています。弊誌でも身近な神社等、昭和地区の知って欲しい事をご紹介します。この欄を通して関心を持って頂ければと思っています。

広報専門部会